

# 県民の宝である『樹氷』の復活に向けて

県では、令和5年3月「樹氷復活県民会議」を設立し、樹氷を形成するオオシラビソ（別名：アオモリトドマツ）林の再生の支援に取り組んでいます。

## 被害地の状況

蔵王連峰の1,300mから1,700mの亜高山帯に多く自生する針葉樹であり、樹氷を形作るオオシラビソ。そのオオシラビソが、虫による被害等により、広範囲に枯死しました。林野庁東北森林管理局の調査によると、山形県側では約2万3千本（全本数の約2割弱）のオオシラビソが枯れており、樹氷の存続が危ぶまれています。特に被害の大きい地蔵岳山頂付近では枯死木が広がり、このままでは自然による再生は難しい状況です。



地蔵岳山頂付近の枯損状況（遠景）



地蔵岳山頂付近の枯損状況（近景）



## 樹氷の景観を次世代へつなぐ取組み

### オオシラビソ林の育成(再生に係る知見の蓄積)

オオシラビソ林を再生させた事例はなく、流通している苗木もないことから、蔵王温泉スキー場の標高1,400m付近に圃場を整備し種子から苗木を育てています。また、蔵王ロープウェイ樹氷高原駅付近に自生する稚樹を掘り取り、標高1,600mの地蔵山頂駅付近に移植しています。



### 次世代を担う子どもたちによる稚樹の移植

オオシラビソの成長は年に数センチ、成木まで70年必要とも言われています。樹氷再生は、息の長い取組みとなることから、次世代への継承も取組みの大きな柱となります。



### 樹氷復活サポーター制度

樹氷復活県民会議の趣旨に賛同し、オオシラビソ林の再生・樹氷復活のための活動に自ら取組み、または取組みを支援する企業・団体をサポーターに登録し、継続的な活動に取り組んでいます。



### 樹氷復活・育成応援基金

県では、皆さまからの寄附を基金に積み立て、樹氷を次世代に繋ぐための取組みに活用していきます。

### ふるさと納税

山形県ふるさと納税「樹氷復活・育成応援事業」による寄附を受けています。 ※税の優遇措置あり

#### 使途明示型ふるさと納税（個人対象）

寄附金額 2,000円以上・返礼品なし  
ふるさとチョイス等の寄附受付サイトから

#### 企業版ふるさと納税（法人対象）

寄附金額 10万円以上・返礼品なし  
山形県外に本社が所在する企業対象・納付書を発行

詳しくは樹氷復活県民会議ホームページをご覧ください。

樹氷復活県民会議



## やまがた百名山の魅力を Instagram で発信中!!

山形県みどり自然課では、山形県の山岳資源の魅力をInstagramで県内外、そして世界に発信しています。春・夏・秋・冬のそれぞれの「やまがた百名山」の魅力が伝わる作品をInstagramで募集するフォトコンテストでは、皆様から多数の素晴らしい作品をご応募をいただいています。ここでは、令和5～6年度応募作品の一部をご紹介します。



北股岳を背に 投稿者 @hirohiro8490 さん



甕山(男甕・女甕) 投稿者 @h\_r\_k\_696\_trout さん



菜の花と鳥海山 投稿者 @shun.rr854さん



主峰へ続く縦走路/以東岳山頂より 投稿者 @aiainon46 さん



月山弥陀ヶ原より天の川 投稿者 @kiitoitori310 さん



やまがた百名山  
山形県山岳情報ポータルサイト



やまがた百名山  
Instagram